

<2ページ 質問のつづき>

従って、このエリアのにぎわい、活力を生み出すための短期的、長期的の両面からの取組を進めていく必要があると考えます。まず、短期的な取組として、本市のまちづくりに参加したいと考える若い人たちが、いつでも自由に集いまちづくりについて語り合える場所を、民間施設なども含めてこの地域に早期に設置すべきと考えます。昨年、残念ながらコロナ禍のため限定的な開催となりましたが、このエリアで大規模社会実験を実施したところ、多くの学生や若者が参加し大変活躍されたと同っており、若者の活躍の舞台としての素地が大いにあると思うからであります。また、長期的な取組としては、県民会館跡地の活用の際し、この場所をこうした若い人たちがいつでも集える機能を備えた若者のシンボルタワーにするのもありと思いますが、市長のお考えを伺います。

答 郡市長 本市は、仙台駅周辺と並ぶ都心の核とするべく、定禅寺通エリアの活性化に努めてまいりました。そのような中、コロナ禍は、飲食店や宿泊業を中心に大きな打撃を与えており、定禅寺通エリアにおいてもその影響が顕在化していると認識しております。定禅寺通エリアにおいて、昨年は予定していた大規模社会実験がコロナ禍に伴い中止となりましたが、クリエイティブな若者によるアートファッションのイベント企画などがあり、新年度には再度、民間主導で実施しようとする動きが高まっております。これらの取組は、このエリアのまちづくりはもとより、人流の回復や周辺の飲食店への経済波及効果など、コロナ禍からの活力創出としても重要性が増しているものと存じます。私は、長年、文化交流や市民活動の拠点として仙台ならではの魅力を培ってきた定禅寺通エリアは、若者が創造性を発揮する場にふさわしいと考えておりました。県民会館の跡地につきましても、若者に訴求する利活用の在り方などについて、県とも協議してまいります。

令和4年4月27日 委員会市内視察 十八夜観世音堂



令和4年4月27日 委員会市内視察 橋姫明神由来碑



令和4年2月21日 第1回定例会一般質問 本市中心部における渋滞対策の強化を

問 本市の顔とも言える青葉通仙台駅西口では広場化の構想が進んでおり、定禅寺通においても活性化に向けた再整備を行う予定になっております。これらは、本市の魅力向上に資する素晴らしい取組と思いますが、隣接する都心の幹線道路である広瀬通の渋滞が最近ひどくなっていることから、今後、都心を東西に結ぶ3本の幹線道路の内、青葉通、定禅寺通において車線を減らす規制を実施した場合、広瀬通へ通行車両が流入し、さらなる渋滞をまねく危険性が高いと危惧いたしております。御当局は現在の渋滞状況をどのように捉えておられるのか、その原因も把握した上で早急に渋滞対策を講ずるべきと思いますが、お考えを伺います。

答 建設局長 広瀬通では、交通量が多いことに加えて、客待ちタクシーや荷下ろしなどにより渋滞が生じているものと認識しております。これまで、違法駐車防止の啓発活動など交通の円滑化の取り組みを進めており、これに加えて、今後、関係機関と連携しながら、部分的な交差点の改良などについても検討してまいります。中長期的には都心を迂回する都市計画道路の整備を進め、都心を通る車両を抑制することにより、渋滞の緩和を図ってまいります。